

1. 評価結果概要表

作成日 平成19年7月11日

【評価実施概要】

| | | | |
|-------|---|-------|------------|
| 事業所番号 | 3870201179 | | |
| 法人名 | 医療法人 陽成会 | | |
| 事業所名 | グループホームヒロセ | | |
| 所在地 | 〒799-1533 愛媛県今治市国分7丁目4番36号(0898)43-6662 | | |
| 管理者 | 山之内 正美 | | |
| 評価機関名 | 愛媛県社会福祉協議会 利用者支援班 | | |
| 所在地 | 松山市持田町3丁目8-15 | | |
| 訪問調査日 | 平成19年5月9日 | 評価確定日 | 平成19年7月13日 |

【情報提供票より】(19年4月20日事業所記入)

(1) 組織概要

| | | | |
|-------|----------------|--------|------------------------|
| 開設年月日 | 昭和・平成 17年5月10日 | | |
| ユニット数 | 2 ユニット | 利用定員数計 | 18 人 |
| 職員数 | 14 人 | 常勤 | 12 人, 非常勤 2 人, 常勤換算13人 |

(2) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

| | | | |
|---------------------|----------|----------------|----------|
| 家賃(平均月額) | 39,000 円 | その他の経費(月額) | 15,000 円 |
| 敷金 | 有(円) | (無) | |
| 保証金の有無 (入居一時金含む) | 有(円) | 有りの場合 償却の有無 | 有 / 無 |
| 食材料費 | 朝食 | 円 | 昼食 円 |
| | 夕食 | 円 | おやつ 円 |
| | または1日当たり | 1,000 円 | |

(3) 利用者の概要(4月20日現在)

| | | | | | |
|-------|----------|------|-----|----|-----|
| 利用者人数 | 18名 | 男性 | 0名 | 女性 | 18名 |
| 要介護1 | 3名 | 要介護2 | 7名 | | |
| 要介護3 | 6名 | 要介護4 | 2名 | | |
| 要介護5 | 0名 | 要支援2 | 0名 | | |
| 年齢 | 平均 83.5歳 | 最低 | 73歳 | 最高 | 93歳 |

(4) 他に事業所として指定等を受けている事業及び加算

| | |
|------------|--------------------|
| 指定 (あり)・なし | 指定介護予防認知症対応型共同生活介護 |
| 指定 あり・(なし) | 指定認知症対応型通所介護 |
| 届出 あり・(なし) | 短期利用型共同生活介護 |
| 加算 (あり)・なし | 医療連携体制加算 |

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

母体病院が、グループホームという生活形態が相応しい人たちが存在することに気づき、立ち上げたものであるために、運営理念がしっかりしている。また、建物や設備にはいろいろな工夫があり、ゆとりのある生活を保障している。ケアサービスには、管理者等の「高齢者は人生の先輩であり、全てを理解している。だから誤魔化しは利かない。」という姿勢が職員にも伝わっており、真摯な態度で利用者に接している。食事の味付けに、利用者からのOKのサインを貰い嬉しそうな職員の笑顔には、ホームのケアの質の高さを感じられる。母体病院や隣接している施設との緊密な連携があるため、医療面にも安心感があり、地域福祉の拠点として期待できるホームである。

【質向上への取組状況】

| |
|--|
| ▼ 前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) |
| 前回評価の改善課題は管理者と職員で話し合い、改善状況報告として公開されている。主な内容として「記録の記載方法」があったが、早々に介護日誌のフォーマットを変更し、改善されている。その他についても迅速な対応がなされている。 |
| ▼ 今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) |
| 管理者や職員は、自己評価を、業務がマンネリ化しないように、自分たちで新たな視点が持てる時間と位置づけ、全職員で取り組んでいる。運営者も協力的で、自分達のケアを客観視する機会として支援している。 |
| ▼ 運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6) |
| 運営推進会議は、利用者や家族、民生委員、行政等の参加者で早々に開催しており、現在まで2か月に1回のペースで行っている。討議内容は運営推進会議という新たな取り組みのため、ホーム紹介や意見交換に終わっており、まだ具体的な話までには至っていない。運営推進会議を利用者へのサービス向上や地域との連携を深めるよい機会と捉え、ホーム側からの具体的な討議内容の提案を期待したい。 |
| ▼ 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8) |
| 家族等との話し合いは、毎月の家族会や随時の面会の時間を活用している。家族等がホームに対して意見が出しやすいように、毎月の家族会は、一日中時間を確保しており、集団での話し合い、個別での相談など、家族等の都合に合わせている。また、家族等が面会時に出された意見等は記録されており、ケア会議で討議事項として話し合いを持ち、家族等の意見には丁寧に対応している。 |
| ▼ 日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) |
| ホームは、地域との交流を深めることの必要性を認識しており、地域祭への参加やみこしの来訪などが行われている。近隣の保育所とは頻繁に行き来しており、地域との繋がりが感じられる。ただ、行事ごとを通しての交流が主であり、利用者の普段着でのつきあいとまでは言いがたい。今後は、利用者が地域でも役割を担うような近所づきあいを期待したい。 |

(別表第1の2)

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

I. 理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

V. サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

ーサービス向上への3ステップー
“愛媛県地域密着型サービス評価”

【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。
 - 各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに※を付け、適宜その内容を記入すること。
 - 「取組みの事実」は必ず記入すること。
- ※用語について
- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)
 - 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
 - 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。
 - チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 グループホーム ヒロセ

(ユニット名) 1F もくれん

記入者(管理者)
氏名 山之内 正美

評価完了日 _____

(別表第1)

自己評価及び外部評価票

【セル内での改行は「Alt+Enter」です。】

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|--------------------|------|--|--|----------------------------|---|
| I. 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1. 理念と共有 | | | | | |
| 1 | 1 | ○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている | (自己評価) その人らしい、生きがいのある心地よい今の実現を理念にかかげ、認知症にの進行が少しでも和らぎ普通に暮らして頂けるよう家庭的な雰囲気を持って支援している (外部評価) 季節行事や日常的な散歩の中で地域の人とのふれあいを重ね、地域に密着した働きかけが行われているが、ホームが田園に囲まれた場所にある関係もあり、「地域」という定義が定まっていない。また、同法人の施設に隣接しているために法人全体での関わりが主となり、ホームの独自性が見えにくい。 | ※ | 利用者が地域住民として生活を送るためには、普段づきあいのできる関係が求められる。中学校や自治会という枠組みも有効であるが、ホームの立地条件から考えると、独自性の枠組みを構築することの方が有効と考えられる。 |
| 2 | 2 | ○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる | (自己評価) ホールに額を掲げ、日々迷ったときは立ち戻り、「和」と「誠意」をもってお世話するよう伝えている 新しい職員にも寄り添い理念の実現の協力を求めている (外部評価) 管理者や職員は、理念を言葉だけで捉えているのではなく、「人生の先輩である利用者は、我々のケアを見抜いている。だから真摯に取り組む必要がある」との共通認識がある。その上で、理念を実現しようとするケアが行われている。 | | |
| 3 | | ○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる | (自己評価) 地区の代表の参加による運営推進会議でホームの取り組みをお伝えすることで寄り添うケアをすすめる、理念の実現に努めていることを伝えている | | |
| 2. 地域との支えあい | | | | | |
| 4 | | ○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りしてもらえるような日常的なつきあいができるように努めている | (自己評価) 散歩時の保育所やホーム中庭での園児さんとの交流、散歩中の老婦人との挨拶、学生さんとの挨拶、近隣の方との立ち話、お花を頂くなどの交流がある | | |
| 5 | 3 | ○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている | (自己評価) 近隣の国分寺への初詣、地方祭、みこし来訪などを実施している (外部評価) ホーム開設以降、地域との交流を深めることに努めており、地域祭への参加やみこしの来訪などが行われている。近隣の保育所とは頻りに行き来しており、地域との繋がりが感じられる。しかし、行事ごとを通しての交流が主であり、利用者の普段着での近所付き合いとは言えない。 | ※ | 唐子文化祭、富田の盆踊りなどの招待は受けているので参加していきたい 例えば、小学生の登下校時に行っている散歩やあいさつを、小学生の見守りと位置づけることで利用者に役割が生まれる。また、現在行われている自治会との付き合いや保育所との交流の場面にも役割を見出すことが可能だと思われるので、地域の中に利用者の役割を見出す取り組みを期待したい。 |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------------|------|---|--|----------------------------|--|
| 6 | | ○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる | (自己評価) 国分総代や地域の高齢者に行事参加への呼びかけをしている | | |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 | | | | | |
| 7 | 4 | ○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる | (自己評価) 自己評価表は身近に置き、「月」の目標に掲げ、問題意識を持ち、改善に取り組んでいる (外部評価) 管理者や職員は、外部評価の意義をよく理解しており、利用者へのサービス向上には、不可欠であるとの認識がある。 | | |
| 8 | 5 | ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | (自己評価) 地域の代表者の参加もあり、招待を受けているものには積極的に参加し、地域とのつきあい交流を勧めている (外部評価) 運営推進会議は現在まで2か月に1回行われており、家族代表や自治会役員の参加などを促している。討議内容はホームの紹介などに留まっており、利用者へのサービス向上に繋がる話までには至っていない。 | ※ | 運営推進会議を、利用者へのサービス向上や地域との連携を深める良い機会と捉え、ホーム側からの積極的な提案を期待したい。 |
| 9 | 6 | ○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる | (自己評価) 同施設内の居宅支援事業所のケアマネとの情報交換をすることで質の向上に務めている (外部評価) ホームに居宅介護支援事業所が併設されており、隣には介護老人保健施設がある。そのため、地域の重要な福祉施設としての役割を担っており、行政との連携も強い。ただ、法人全体として連携があるため、ホームの独自性が弱く感じられる。認知症の専門性が強調された取り組みを期待したい。 | ※ | ホーム独自の連携が難しかった要因は、行政側の広域な市町村合併や地域包括支援センターの整備など、ホームとの連携に費やす実務的余裕が無かったことも大きい。管理者は認知症の理解を地域に深めたいとの考えを持っており、今後の取り組みに期待したい。 |
| 10 | | ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している | (自己評価) 現在財産管理、運用に対する問題のある方はおられないが、必要に応じ資料による説明を準備している 又、居宅や支援センターと連携をとっている | | |
| 11 | | ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている | (自己評価) 物理的、精神的虐待があることを認識し、言葉による拘束は虐待の一部だと認識し、心地よい、生きがいのある、その人らしい今の実現の理念を追求する | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------|------|---|---|----------------------------|--|
| 4. 理念を実践するための体制 | | | | | |
| 12 | | ○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている | (自己評価) 担当ケアマネと十分な話し合いを持ち、助言を受けながら入居の十分な検討をし重要事項説明書にて、ご家族にホームの説明を行っている | | |
| 13 | | ○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | (自己評価) 利用者の入居中の不満・意見にも耳を傾け、ホーム職員としてできること、ご家族と協力することを検討し、承認を得るシステムをなっている | | |
| 14 | 7 | ○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている | (自己評価) 面会時・家族会で近況報告を行っている 職員の異動については面会時に職員が挨拶することで報告となっている <hr/> (外部評価) 利用者の健康状態や暮らしぶりは、家族の面会時に、面会の少ない家族には電話での報告も行われている。ホーム便りにも利用者の近況が載せられており、家族等の楽しみになっている。金銭についても、領収書と出納帳で家族に報告されている。 | | |
| 15 | 8 | ○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | (自己評価) 意見箱・アンケートを実施し、職員全員に周知徹底し、サービスの改善に努め、これらを陽成会の事務所へ報告するシステムになっている <hr/> (外部評価) 家族等との話し合いは、毎月の家族会や随時の面会の時間を活用している。家族等がホームに対して意見を出しやすいように、毎月の家族会は一日中時間を確保しており、集団での話し合い、個別での相談など、家族等の都合に合わせている。 | | |
| 16 | | ○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている | (自己評価) ミーティングの機会を設け意見を聞く機会としている | | |
| 17 | | ○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている | (自己評価) 勤務表により対応出来る体制を整えているが、緊急時は主任が対応する | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|--------------------|------|--|--|----------------------------|--|
| 18 | 9 | ○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている | (自己評価) 2ユニット内の一部異動であり、全体を知ることや質の向上、自己研鑽に努め、ユニット交流をしている (外部評価) 職員がホーム全体を把握するためにユニット間の異動をする場合があるが、職員異動での利用者への心理的影響を少なくするために、日常的にユニット間の交流に努めている。 | | |
| 5. 人材の育成と支援 | | | | | |
| 19 | 10 | ○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | (自己評価) 陽成会主催の研修会に参加したり、資格取得に向け働きながら勉強やトレーニングの研鑽に努めている (外部評価) 職員の向上心は高く資格取得へ取り組んでいる姿勢は評価できる。また、隣接している法人施設での研修会は、同じ内容を数回開催するなどして、全職員が受講できる配慮がある。外部の研修会は職員に周知しているが、受講は職員の自主性に任されており、受講する職員は偏っている傾向が見られる。 | ※ | 外部の研修会にも、違った視点での学びが期待できる。職員が積極的に、また、段階に応じての参加への支援が求められる。 |
| 20 | 11 | ○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | (自己評価) 東予地域での研修会に参加し、意見・情報交換をしている (外部評価) 同法人には病院や福祉施設、居宅事業所などがあり、職員間の交流がある。しかし、他のホームとの交流は少なく、ホーム間でのネットワーク形成も行われていない。 | ※ | 市内は広域なためにネットワークの構築には時間を要すると思われるが、質の高いケアを提供しているホームとして、行政とともにネットワーク構築の中心となることを期待したい。 |
| 21 | | ○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる | (自己評価) 隣接する介護老人保健施設の副施設長に相談できる体制を整えている 老健合同の親睦会等に参加している | | |
| 22 | | ○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている | (自己評価) 外部研修・内部研修参加推進をし、研修報告をすることで自己研鑽を積むことの機会となっている 資格取得の機会を与えている | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|----------------------------------|------|---|--|----------------------------|--|
| Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 | | | | | |
| 23 | | ○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていることを本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている | (自己評価) 入居時、担当ケアマネ・ご家族との連携でスムーズな入居となるよう努めている | | |
| 24 | | ○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている | (自己評価) ご家族でホーム見学をしていただき、ケアマネを通し生活の場であることを理解した上で利用していただく | | |
| 25 | | ○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | (自己評価) 担当ケアマネ・ご家族との連携で正しい見極めができるように努めている | | |
| 26 | 12 | ○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している | (自己評価) ご家族でホーム見学をして頂き、ケアマネを通し、生活の場であることを理解した上で利用していただく (外部評価) 利用者や家族等にホームを見学してもらうことでホームの雰囲気を理解してもらっている。利用者が安心する雰囲気は職員の対応が作り出すものとの考えがあり、ソフト面の気遣いにも配慮がなされている。 | | |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | | | | | |
| 27 | 13 | ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている | (自己評価) 嫁・孫の立場のスタッフでいい人間関係が作られている場面が伺える (外部評価) 管理者や職員には、利用者は人生の先輩であるとの姿勢があり、料理や洗濯など家事について相談している。職員が利用者に見付けを見てもらい、OKを貰って笑顔で喜ぶ姿等にそれを見ることができる。 | | |
| 28 | | ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている | (自己評価) 面会時にはホームでの生活状況をお話し、情報を共有するようにしている | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------------------|------|--|---|----------------------------|--|
| 29 | | ○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している | (自己評価) 家族のこれまでの背景の上でより良い関係が築かれるよう、ホームでのエピソードを交えてお伝えするようにしている | | |
| 30 | | ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | (自己評価) 個別的な場所に関しては家族の方のご協力を得られるよう声掛けをしている | | よりいっそうの声掛けをし、思いで作りを支援していきたい |
| 31 | | ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている | (自己評価) 9人の利用者さんのいいところをアピールするよう心がけ、個性を尊重したい関係作りに努めている | | |
| 32 | | ○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている | (自己評価) 現在退居となった利用者さん・家族との継続した関わりは持っていない状態 | | |
| Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 1. 一人ひとりの把握 | | | | | |
| 33 | 14 | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | (自己評価) アセスメントを行い、把握している (外部評価) 利用者の入居前のアセスメントで、その人の生活歴を整理し、その後に把握した内容も記録として残し、本人が意向を表出することが難しくなった場合への対応の資料として活用できる準備がある。また、入浴時間が利用者の背景を知ることができる時間と位置づけ、情報収集に努めている。 | | 自己評価の改善の取り組みとしてセンター式の心身の情報：私の姿気持ちの記入を行った |
| 34 | | ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | (自己評価) 入居時にご家族に生活歴をお聞きし、これまでの暮らしの把握に努めている | | |
| 35 | | ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている | (自己評価) 日々の気付き、生活リハ、質等より現状の把握は出来ていると考えられる | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|---------------------------------------|------|---|--|----------------------------|--|
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | | | | | |
| 36 | 15 | ○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している | (自己評価) 毎日の気付きを書くシートをケアプランに連動できるシートを使用し、カンファレンスを今の問題からずれないよう工夫している (外部評価) 毎日のケアで気づいたことを記入する「気づきシート」を作成している。記載内容が介護計画とリンクしており、全職員が介護計画を意識しながらケアを行っていることが分かる。家族からの意見なども取り入れて介護計画を作成していることは評価できる。 | | |
| 37 | 16 | ○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している | (自己評価) 3ヵ月の実施期間とし、見直しを行う状態変化があった場合は、その都度見直しを行っている (外部評価) 介護計画の期間に応じて評価、見直しをすると共に、見直し以前に心身に変化が生じた場合は、新たに現状に即した介護計画を作成している。 | | |
| 38 | | ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | (自己評価) フロア業務、伝達、個別伝達と区別し、情報を共有しケアを行っている | | |
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援 | | | | | |
| 39 | 17 | ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々 ^き の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている | (自己評価) 歯科衛生士・運動療法士・管理栄養士のアドバイスを受けられる体制であり、よりいっそうの自立支援を行っていききたい (外部評価) 法人内に、病院、福祉施設、居宅介護事業所等色々な機能があり、利用者へのケアサービスの向上に繋がるように上手く活用している。 | | 自己評価の改善の取り組み、転倒防止のゴロゴロ体操のプログラムを運動療法士の協力で作り、スタッフが実施し定着したい |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------------------|------|--|---|----------------------------|--|
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 | | | | | |
| 40 | | ○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している | (自己評価) 音楽ボランティア、園児との遊ぶ会 積極的なボランティアへの働きかけをすすめている | | |
| 41 | | ○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている | (自己評価) 担当ケアマネやホームスタッフ・ご家族の支援で本人さんを支えている | | |
| 42 | | ○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している | (自己評価) 地域福祉権利擁護事業や成年後見人制度のパンフレットを利用し支援センターの活用を呼びかけている | | ご家族の支援で支える事ができているが、必要に応じて検討していく |
| 43 | 18 | ○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | (自己評価) 母体である広瀬クリニックの受診、又緊急時の対応が確保されていることの安心感があると思われる (外部評価) 母体病院が地域に密着した活動を行っており、その信用からホームを利用している人が殆どのため、利用者の主治医は母体病院になっている。そのため、連携は堅固であり、安心できる。 | | かかりつけ医との連携をよりいっそう取り、医師・家族・スタッフが情報を共有し、安心感をよりいっそう強いものにしたい |
| 44 | | ○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している | (自己評価) 専門医との連携をとっている方は現在はいないが、個々の状態に合わせ、ご家族に説明しアドバイスを含め、専門医の案内の提案をしていく | | |
| 45 | | ○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている | (自己評価) 訪問看護ステーションと連携をとり、ホームの看護職員とともに日常の健康管理をしていく | | |
| 46 | | ○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している | (自己評価) 治療の方向性を見てご家族と検討を行っている | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|--|------|---|--|----------------------------|---|
| 47 | 19 | ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している | (自己評価) 契約時に説明を行い。意向を伺うようにしている 今現在はかかりつけ医である入院治療を希望されている方が多い <hr/> (外部評価) 利用者の終の棲家となることに向けて、終末期ケアの取り組みを始めている。看取りの指針も作成されており、家族への説明も行っている。母体が病院のため、終末期ケアを行うペースが整っている。現在、終末期ケアを実践しており、職員や関係者との方針の話し合いが日々行われている。 | ※ | 実践している取り組みを記録化し、本格的な実践に際しての研鑽を期待したい。また、看取りでも様々な場合があるので、ホームでの対応が可能な場合と難しい場合の区分についても職員と一緒に話し合いを行うことを望みたい。 |
| 48 | | ○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている | (自己評価) 2Fの利用者でターミナルケアのご意向がある方のご家族とは在宅支援診療所の契約をされている 今現在は安定されており、訪問看護と訪問診療の支援で落ち着いた生活が送れている | | |
| 49 | | ○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている | (自己評価) 在宅復帰を希望され、練習外泊を試みて、担当ケアマネと連携を取り、情報を提供しながら在宅生活の支援ができた例が1件あった(2F入居者) | | |
| <p>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> <p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1)一人ひとりの尊重</p> | | | | | |
| 50 | 20 | ○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない | (自己評価) 一人一人を尊重した言葉かけを心がけている <hr/> (外部評価) 利用者の誇りやプライバシーを損ねることなく、一人ひとりに暖かい声かけや関わりが行われている。情報管理も丁寧に行っており、人として尊重されている安心感がある。 | | |
| 51 | | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている | (自己評価) 分かりやすい声掛けを行う、言葉の表出ができない方には職員が相手のことを思いやる(気持ちにくむ)姿勢での対応が必要となっている。職員それぞれのコミュニケーション方法でいい人間関係を保っている | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------------|------|---|---|----------------------------|---|
| 52 | 21 | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | (自己評価) その方の動きと優先し、それに添うケアを心がけるよう努めている (外部評価) 生活のリズムを守るために一日の大きな流れは決まっているが、利用者のペースを優先させている。職員の会話や態度に、生活を楽しんでもらうということが見受けられ、ゆっくりとできる雰囲気がある。 | | |
| (2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 | | | | | |
| 53 | | ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている | (自己評価) 理美容は現在有料ボランティアの利用の方がほとんどである 満足は得られている様子が伺える | | |
| 54 | 22 | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | (自己評価) 全面的満足が得られているとは思えないが、一応の満足得られており、食事風景・後片付け風景からは心地よい食卓と考えられる (外部評価) 月に数回お楽しみ日を作り、利用者のリクエストに応える食事会を行っている。利用者が腕を振るうことも多く、食事をトータルで楽しむような取り組みが行われている。 | | |
| 55 | | ○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している | (自己評価) 10時・15時のお茶の時間を楽しみにされており、個人持ちのお菓子をみんなで分けていただき、甘いものがみんなの気持ちを穏やかにしている場面も見られる | | |
| 56 | | ○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している | (自己評価) それぞれの排泄状況にあった声掛け、又気持ちよく介助が受けられる対応の仕方がそれぞれに確立している | | 排便困難時は本人さんより「助けて」との声掛けに「助けてあげるよ」と排便介助は信頼関係を生んでいる便座にかけられ、肛門まで便があっても力むことを忘れていた方への介助 |
| 57 | 23 | ○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している | (自己評価) 希望に応じた入浴を基本とし、マンツーマンで対応して、楽しい時間となっている (外部評価) 入浴の時間や回数は利用者の希望に合わせた支援が行われている。また、入浴介助は、職員が利用者との信頼関係を深めるタイミングであるとの認識があり、丁寧に支援が行われている。 | | 浴室動作の認知が困難で緊張が強く疲労感が強い方がおられ、リラックスのできる入浴介助を日々心がけている |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|-------------------------------|------|--|--|----------------------------|---|
| 58 | | ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している | (自己評価) 毎食後等、休息したい時には、居室にて休んでもらっている 本人さんのペースで、体調を観察し個別に対応している | | |
| (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 | | | | | |
| 59 | 24 | ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている | (自己評価) もくれん仲間の歌を作って歌っている 9人みんなの生活をズンドコ節の替え歌にしたもので入居者同士の連帯に役立っている (外部評価) 利用者のできること、難しいことのアセスメントがなされており、一人ひとりが役割を担うような支援が行われている。職員は利用者仕事をお願いする立場に立ち、終わるとお礼を言うという取り組みがされており、利用者の、役割を終えたときの得意そうな笑顔が、張り合いのある日々を送っていることを表している。 | | |
| 60 | | ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | (自己評価) 小遣い帳の取組みを行っているが、個人の管理能力にやや差があり、小遣い帳を使用していない方にとっては、負担となっているようであるが、共に過ごす時間を増やす事で安定している | | |
| 61 | 25 | ○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している | (自己評価) その日・その時の希望でホーム周囲の散歩の介助を常時行っている (外部評価) 買い物や行事での外出以外にも、散歩や庭に出る機会を多くすることで、利用者が四季を肌で感じたり、天気を意識できるように支援している。 | | |
| 62 | | ○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している | (自己評価) ご家族のご協力を得て行っている 日曜の息子さんとのドライブ等 | | 一部の家族にかたよっている状況である 思い出作りの協力の声掛けをすすめる |
| 63 | | ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている | (自己評価) 不安時の電話の介助で落ち着かれる 年賀状等の支援 | | |


| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|-----------------------|------|---|--|----------------------------|--|
| 64 | | ○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している | (自己評価) お茶を飲みながら同時間を過ごして頂き、入居生活の出来事をお話するようにしている 訪問、外出などの統計をとって連携の把握をしている | | |
| (4)安心と安全を支える支援 | | | | | |
| 65 | | ○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる | (自己評価) 転倒の恐れが大きい利用者さんについては、家族を交えて状況の説明をし、出来る限りの見守りでベットの柵をしない方向でケアをしている | | |
| 66 | 26 | ○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる | (自己評価) 日々、利用者さんと接する事で、個々の心理状態の変化をいち早く気付けれよう、職員が意識している (外部評価) 玄関等の鍵は防犯のため以外には、掛けられていない。不穏な状態の利用者には、共に外出することを基本としている。 | | |
| 67 | | ○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している | (自己評価) 寄り添うことで個々の心理状態にいち早く気付かれるよう配慮している | | |
| 68 | | ○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている | (自己評価) 薬はカギのかかる場所に保管してある 刃物、洗剤は所定の場所へ保管している | | |
| 69 | | ○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる | (自己評価) 緊急時マニュアルにそって行う 忘れないよう定期的に意識付けをする | | |
| 70 | | ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている | (自己評価) 緊急時対応マニュアルを作成し徹底、勉強会も行っている | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|-----------------------------------|------|--|---|----------------------------|--|
| 71 | 27 | ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている | (自己評価) 自治会の集会に参加し、協力依頼を行うとともに、毎月10日を「防災の日」とし、イメージトレーニングをしている (外部評価) 消防署や自治会と協力しながら避難訓練を実施し、マニュアルも作成されている。また、毎月10日を「防災の日」と位置づけ、災害対策の意識をホーム全体で高め | | |
| 72 | | ○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている | (自己評価) 個別の状況に応じた考えられるリスクを含め、生活状況はご理解頂けるよう情報提供を共有し、ご本人さんにとって一番よい環境作りに努めている | | |
| (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 | | | | | |
| 73 | | ○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異常の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている | (自己評価) 日々のバイタルチェックの実施、治療の必要性、経過観察の見極め、活気、普段との変化に注意を払い、申し送りで情報を共有している | | |
| 74 | | ○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | (自己評価) 内服チェックの担当を決めている 薬剤師からの処方ファイルは全職員が見るようにしている | | |
| 75 | | ○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる | (自己評価) 繊維の多い食事、適度の運動 朝食後時間をとり、力むなどの観察、見守り、声掛けが必要となっていて効果がある方も見られている | | |
| 76 | | ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている | (自己評価) 歯科衛生士の口腔ケアの個別指導を行っている | | |
| 77 | 28 | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | (自己評価) 個人バイタルチェック表にて把握している 又、体重測定でBMI値を出し、体調変化を把握している (外部評価) 利用者の好みに合わせながら栄養バランスを考え献立がたてられており、個別の摂取状況も記録されている。栄養摂取総量は、法人の栄養士との相談もあり、適切に管理されている。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|--------------------------------|------|---|--|----------------------------|--|
| 78 | | ○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取組みがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等） | (自己評価) 玄関に消毒液の設置。マニュアルでの勉強を行う 感染予防の勉強会に参加し、予防・対応している | | |
| 79 | | ○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている | (自己評価) 毎日老健の厨房から一日分の食材を調達し、冷蔵庫管理、使いきりを心がけている 食器乾燥機の使用、布巾消毒をマニュアルに示し、行っている | | |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり | | | | | |
| (1)居心地のよい環境づくり | | | | | |
| 80 | | ○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている | (自己評価) 玄関前にはベンチがあり近所の方が立ち寄り休憩できるスペースや草花のプランターを配置し、家庭的な生活空間に配慮している。利用者と共に手入れをしている | | |
| 81 | 29 | ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | (自己評価) 畳コーナーや窓辺に座り、中庭の季節の草花を見ながらの日光浴を楽しんでいる 夜間ナースコールを遠慮されるため、鈴にて対応している (外部評価) ゆったりとした共用空間に、さり気なく季節の飾り物が配置されている。ユニットの造りは同じであるが、家具のレイアウトなどでそれぞれの異なった生活感を醸し出している。採光や通風にも工夫が見られる設えで、心地よい空間である。 | | |
| 82 | | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている | (自己評価) 対面式の台所は、みなさんの様子をみながら声を掛け合い、和やかな雰囲気を作れている。又、居間の一角に、テレビ・ソファを配置し、自由に過ごせるようになっている。 | | |
| 83 | 30 | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | (自己評価) 家族を交え周囲症状が少しでも和らいで頂けるよう話し合いをしたり、改善をしている。 (外部評価) 使い慣れたタンスや布団、家族の写真を飾るなど居心地よく過ごせる居室への配慮が見受けられた。居室の目印も利用者の好みに応じて様々な物が飾られている。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------|------|---|---|----------------------------|--|
| 84 | | ○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気の様子がないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている | (自己評価) マニュアルに示し、時間を決めて行っている 又、随時気配りをしている | | |
| (2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり | | | | | |
| 85 | | ○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している | (自己評価) バリアフリーで安全に動けるようにしてある 室内での物干しは足元が不安定な入居者さんには重宝されている | | |
| 86 | | ○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している | (自己評価) できる事、できない事の見極めをし、利用者ごとにケアプランにあげ、場面づくり、見守りのケアの中でスタッフが観察しながら一緒に環境作りを実施している。 | | |
| 87 | | ○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている | (自己評価) 建物周辺にベンチを設置し、利用者の方と、洗濯干し・玄関掃除・水撒き等活動を行っている。 | | |

(注)

- 1  部分は自己評価と外部評価の共通評価項目。
- 2 全ての自己評価又は外部評価の項目に関し、具体的に記入すること。

| V. サービスの成果に関する項目 | | |
|------------------|--|---|
| 項目 | 取り組みの成果 (該当する箇所を○印で囲むこと) | 判断した具体的根拠 |
| 88 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) ①ほぼ全ての利用者の 2 利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない | 利用者への気付きのシート・アセスメント(私の気持ちのシート)を記入し、職員は情報を共有し、意向を掴んだケアを行っている |
| 89 | 利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) ①毎日ある 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない | 談話の時間が午前10時と午後3時のお茶の時間にあり、その節昔話や童謡など回想されたりと利用者職員との交流を図る。 |
| 90 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない | 食事後の休憩、TV、ラジオ、散歩、日光浴、お茶の時間等、ゆったりとした時間が流れており、利用者個々のペースで穏やかな時間作りをしている |
| 91 | 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない | 元気で長生きアンケートを行い、生き生きとした表情のある時間作りの支援を行っている |
| 92 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない | 毎日のように中庭のベンチに散歩をしており、花を摘んだり日光浴をしたり、季節感を味わい時間をお過ごされる。又、利用者毎の希望も取り入れ外出の機会を作っている。 |
| 93 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない | 協力病院のバックアップがあり安心感が得られていると考えられる |
| 94 | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない | 外出願望時には寄り添い中庭を散歩したり、家事等をして落ち着いて頂いたり、気分転換をしていただくようにしている |
| 95 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (自己評価) ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない | 家族会や面会の機会にホームの生活の状況をお話し、情報の共有を行っている 信頼関係は持っていると考えられる |
| 96 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 3 たまに 4 ほとんどない | 保育所の園児さんに中庭に寄っていただいたり、散歩中の老夫婦との挨拶、学生さんとの挨拶など、玄関ベンチはいい場所となり、あらゆる機会に気軽に立ち寄り頂けるようになっている。 |

| 項 目 | | 取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと) | 判断した具体的根拠 |
|-----|---|--|---|
| 97 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている | 1 大いに増えている (自己 ② ②) ② ② ② ② ② 評価) ③ ③ ③ ③ ③ ④ ④ ④ ④ ④ | 2 か月毎の実施をしており、グループホームヒロセの取り組みを認知症の理解を深められていると考える |
| 98 | 職員は、生き活きと働けている | ① ① ① ① ① (自己 ② ② ② ② ② 評価) ③ ③ ③ ③ ③ ④ ④ ④ ④ ④ | 認知症ケアの難しさ・楽しさを味わっているように感じられる会話が見られる |
| 99 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う | ① ① ① ① ① (自己 ② ② ② ② ② 評価) ③ ③ ③ ③ ③ ④ ④ ④ ④ ④ | 入居して穏やかになっている 表情がいいとの言葉を頂いており、概ね満足して下さっていると考え |
| 100 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う | 1 ① ① ① ① ① (自己 ② ② ② ② ② 評価) ③ ③ ③ ③ ③ ④ ④ ④ ④ ④ | 面会時・家族会時にコミュニケーションをとり、利用者さんの状況を共有するようにしており、信頼感が持っており概ね満足されていると考える |

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

- ・ 寄り添うケアを基本とし利用者さんの一歩を大切にされた支援を行っている
- ・ 利用者さん同士の関係作りにも注意を払い、入居生活が居心地よいものになるような声掛けを行っている
- ・ ご家族にとって母体の陽成会の広瀬クリニックと連携を取り、又隣接する訪問看護ステーションの看護師のバックアップが医療面・安全面での安心感を持っていると考える

(別表第1の2)

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

I. 理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

V. サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

ーサービス向上への3ステップー
“愛媛県地域密着型サービス評価”

【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。
 - 各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに※を付け、適宜その内容を記入すること。
 - 「取組みの事実」は必ず記入すること。
- ※用語について
- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)
 - 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
 - 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。
 - チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 グループホーム ヒロセ

(ユニット名) 2F つつじ

記入者(管理者)
氏名 羽藤 千春

評価完了日 _____

(別表第1)

自己評価及び外部評価票

【セル内での改行は「Alt+Enter」です。】

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|--------------------|------|--|--|----------------------------|--|
| I. 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1. 理念と共有 | | | | | |
| 1 | 1 | ○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている | (自己評価) 管理者・職員が話し合い「その人らしい、生きがいのある心地よい今」を掲げ日々のケアと関連付けている。 (外部評価) 季節行事や日常的な散歩の中で地域の人とのふれあいを重ね、地域に密着した働きかけが行われているが、ホームが田園に囲まれた場所にある関係もあり、「地域」という定義が定まっていない。また、同法人の施設に隣接しているために法人全体での関わりが主となり、ホームの独自性が見えにくい。 | ※ | 利用者が地域住民として生活を送るためには、普段づきあいのできる関係が求められる。中学校や自治会という枠組みも有効であるが、ホームの立地条件から考えると、独自性の枠組みを構築することの方が有用と考えられる。 |
| 2 | 2 | ○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる | (自己評価) 陽成会の理念があり、朝礼等で唱和している。「和」と「誠意」を持って相手の気持ちになり接している。 (外部評価) 管理者や職員は、理念を言葉だけで捉えているのではなく、「人生の先輩である利用者は、我々のケアを見抜いている。だから真摯に取り組む必要がある」との共通認識がある。その上で、理念を実現しようとするケアが行われている。 | | |
| 3 | | ○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる | (自己評価) 地区の代表参加の運営推進会議で、ホームの取り組みをお伝えする事で身近なケアをすすめて地域家族と共に理念の実現に務めていることを伝え、実行している。 | | |
| 2. 地域との支えあい | | | | | |
| 4 | | ○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている | (自己評価) 散歩時、近隣の保育所での園児さんとの交流を図っている。又、玄関前にベンチを設置し休憩できるスペースを設けている。 | | |
| 5 | 3 | ○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている | (自己評価) 近隣の国分寺等に初詣・地方祭(みこし来訪)等実施。富田地区・国分地区自治会主催行事にも参加(納涼祭・文化祭・盆踊り)など、地域交流活動を実施している。 (外部評価) ホーム開設以降、地域との交流を深めることに努めており、地域祭への参加やみこしの来訪などが行われている。近隣の保育所とは頻繁に行き来しており、地域との繋がりが感じられる。しかし、行事ごとを通しての交流が主であり、利用者の普段着での近所付き合いとは言えない。 | ※ ※ | ボランティア等の受け入れをし、積極的に地域との交流を進めていきたい。 例えば、小学生の登下校時に行っている散歩やあいさつを、小学生の見守りと位置づけることで利用者に役割が生まれる。また、現在行われている自治会との付き合いや保育所との交流の場面にも役割を見出すことが可能だと思われるので、地域の中に利用者の役割を見出す取り組みを期待したい。 |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------------|------|---|---|----------------------------|--|
| 6 | | ○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる | (自己評価) 地域貢献に向けて話し合い、地域の高齢者との交流の場又、介護者の相談場所・下校児童の見守り時、声掛けなど活動的な機会を増やしていく。 | | |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 | | | | | |
| 7 | 4 | ○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる | (自己評価) 職員間で話し合い、評価項目を毎月の目標に取り入れ、具体的な改善に取り組んでいる。 (外部評価) 管理者や職員は、外部評価の意義をよく理解しており、利用者へのサービス向上には、不可欠であるとの認識がある。また、自己評価も業務がマンネリ化しないように新たな視点を持てる時間と位置づけ、全職員で取り組んでいる。 | | |
| 8 | 5 | ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | (自己評価) 1回/2カ月の運営推進会議に於て、評価への取り組みの状況報告を行い、意見も伺っている。 (外部評価) 運営推進会議は現在まで2か月に1回のペースで行われており、家族代表や自治会役員の参加などを促している。討議内容はホームの紹介などに留まっており、利用者へのサービス向上に繋がる話までには至っていない。 | ※ | 運営推進会議を、利用者へのサービス向上や地域との連携を深める良い機会と捉え、ホーム側からの積極的な提案を期待したい。 |
| 9 | 6 | ○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる | (自己評価) 同施設内の居宅支援事業所のケアマネと情報交換し、今後地域支援センターとも情報交換を今以上に連携しサービス向上に努めたい。 (外部評価) ホームに居宅介護支援事業所が併設されており、隣には介護老人保健施設がある。そのため、地域の重要な福祉施設としての役割を担っており、行政との連携も強い。ただ、法人全体として連携があるため、ホームの独自性が弱く感じられる。認知症の専門性が強調された取り組みを期待したい。 | ※ | ホーム独自の連携が難しかった要因は、行政側の広域な市町村合併や地域包括支援センターの整備など、ホームとの連携に費やす実務的余裕が無かったことも大きい。管理者は認知症の理解を地域に深めたいとの考えを持っており、今後の取り組みに期待したい。 |
| 10 | | ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している | (自己評価) 現在財産管理運用に対する問題のある方はおられないが、勉強会を行いアドバイスができる状態を整えており、居宅支援事業所と支援センターとの連携を確保し、いつでも支援できるように勉強している。 | | |
| 11 | | ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている | (自己評価) 職員は物理的・精神的な虐待もある事を認識し、注意を払い虐待防止に努めるケアに取り組んでいる。又、些細な差別的事柄に注意を払って職員の虐待の認識モラルの向上に努めている。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------|------|---|---|----------------------------|--|
| 4. 理念を実践するための体制 | | | | | |
| 12 | | ○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている | (自己評価) 利用申し込み時又契約時、十分な時間をかけ説明を行い、理解を得ている。重要事項説明書にて説明同意を得ている。 | | |
| 13 | | ○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | (自己評価) 老健副施設長や居宅職員が日頃より出向いて、会話する時間を設けている。 | | |
| 14 | 7 | ○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている | (自己評価) 毎月の家族会・面会時等個々に合わせ報告をしている。 (外部評価) 利用者の健康状態や暮らしぶりは、家族の面会時に、面会の少ない家族には電話での報告も行われている。ホーム便りにも利用者の近況が載せられており、家族等の楽しみになっている。金銭についても、領収書と出納帳で家族に報告されている。 | | |
| 15 | 8 | ○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | (自己評価) ご意見箱の設置をし、何かあれば記入投函願っている。ホームの窓口と共に市町村等公的機関の窓口があることも明記している。 (外部評価) 家族等との話し合いは、毎月の家族会や随時の面会の時間を活用している。家族等がホームに対して意見を出しやすいように、毎月の家族会は一日中時間を確保しており、集団での話し合い、個別での相談など、家族等の都合に合わせている。 | | |
| 16 | | ○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている | (自己評価) 老人保健施設との合同ミーティング、グループホーム独自のミーティングに於て活発な意見交換がなされている。 | | |
| 17 | | ○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている | (自己評価) その都度検討し、対応できる体制を整えている。緊急時は主任が対応する。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|--------------------|------|--|---|----------------------------|--|
| 18 | 9 | ○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている | (自己評価) より良いケアを目指し、閉ざされたグループホーム防止の為に異動を実施しているが、利用者の不安がないよう配慮している。又、ケアの統一を計るためユニット間の交流をしている。 (外部評価) 職員がホーム全体を把握するためにユニット間の異動をする場合があるが、職員異動での利用者への心理的影響を少なくするために、日常的にユニット間の交流に努めている。 | | |
| 5. 人材の育成と支援 | | | | | |
| 19 | 10 | ○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | (自己評価) 月1回、全体会及び朝礼等で各職種ごと個人の目標を策定し外部研修(セミナー講師)や資格取得に向け働きながら勉強・研修・研鑽に努めている。 (外部評価) 職員の向上心は高く資格取得へ取り組んでいる姿勢は評価できる。また、隣接している法人施設での研修会は、同じ内容を数回開催するなどして、全職員が受講できる配慮がある。外部の研修会は職員に周知しているが、受講は職員の自主性に任されており、受講する職員は偏っている傾向が見られる。 | ※ | 外部の研修会にも、違った視点での学びが期待できる。職員が積極的に、また、段階に応じての参加への支援が求められる。 |
| 20 | 11 | ○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | (自己評価) 同業者との交流の場での勉強会に参加し交流する機会を設けている。ネットワークづくりの取り組みについては今後検討していきたい。 (外部評価) 同法人には病院や福祉施設、居宅事業所などがあり、職員間の交流がある。しかし、他のホームとの交流は少なく、ホーム間でのネットワーク形成も行われていない。 | ※ | 市内は広域なためにネットワークの構築には時間を要すると思われるが、質の高いケアを提供しているホームとして、行政とともにネットワーク構築の中心となることを期待したい。 |
| 21 | | ○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる | (自己評価) 残業、時間外勤務をしないよう、お互いが協力し合い、残らなくてもすむような体制を整えている。老健と連携し、親睦会を行っている。 | | |
| 22 | | ○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている | (自己評価) 勤務状態を把握し事務サイドと連携しながら、個人の体調を気にかけている。資格取得の機会を与えている。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|----------------------------------|------|---|---|----------------------------|--|
| Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 | | | | | |
| 23 | | ○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていることを本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている | (自己評価) 言葉だけでなく、表情や態度にも注意し何を訴えたいのかを、しっかり受け止め十分なコミュニケーションをとるようにしている。 | | |
| 24 | | ○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている | (自己評価) 見学时・契約時等、十分時間をかけて聞く機会をつくり、じっくりと話し合う。 | | |
| 25 | | ○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | (自己評価) 担当ケアマネージャーとも十分に話し合いを持ち、助言を受けながら入居対象者か否かを検討している。又、本人や家族とも十分協議・相談して支援している。 | | |
| 26 | 12 | ○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している | (自己評価) 利用者の生活歴を把握して、その人に合った話題作りに努め、職員が個々を知り、尊敬していけるよう努めている。 (外部評価) 利用者や家族等にホームを見学してもらうことでホームの雰囲気を理解してもらっている。利用者が安心する雰囲気は職員の対応が作り出すものとの考えがあり、ソフト面の気遣いにも配慮がなされている。 | | |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | | | | | |
| 27 | 13 | ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている | (自己評価) 調理・洗濯干し・たたみ等生活面でも人生の先輩である利用者さんと共に行いながら、教えて頂いている。 (外部評価) 管理者や職員には、利用者は人生の先輩であるとの姿勢があり、料理や洗濯など家事について相談している。職員が利用者には味付けを見てもらい、OKを貰って笑顔で喜ぶ姿等にそれを見ることができる。 | | |
| 28 | | ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている | (自己評価) 入所前のケアを参考に施設ケアのアドバイスもしてもらう。又、利用者のケアの方法など一緒に考える。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------------------|------|---|---|----------------------------|--|
| 29 | | ○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している | (自己評価) ご家族・利用者さんのコミュニケーションの場、又思い出作りもと行事等声掛けをしている。 | | 4/6お花見行事(湯ノ浦) |
| 30 | | ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | (自己評価) 家族の協力もあり馴染みの理美容店へご家族と一緒に出かける事で、ふれあいの時間がもてるよう支援している。 | | |
| 31 | | ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている | (自己評価) 相性が合う方と合わない方を把握して、個々の持っている能力・持ち味を発揮できるような場面作りをしている。 | | |
| 32 | | ○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている | (自己評価) 居宅介護支援事業所からのアドバイスも随時行われており、退去後も気軽に立ち寄りたり電話ができるようにしている。 | | |
| Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 1. 一人ひとりの把握 | | | | | |
| 33 | 14 | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | (自己評価) 居室にてゆっくり過ごされる方、何かと手伝いを希望される方など、一人一人に寄り添ったケアを心掛けている。 (外部評価) 利用者の入居前のアセスメントで、その人の生活歴を整理し、その後把握した内容も記録として残し、本人が意向を表出することが難しくなった場合への対応の資料として活用できる準備がある。また、入浴時間が利用者の背景を知ることができる時間と位置づけ、情報収集に努めている。 | | |
| 34 | | ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | (自己評価) 契約・入居時に、馴染みのタンス等を持参される事を勧めている。又、身のまわりの片付けは自分ができるよう配慮している。 | | |
| 35 | | ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている | (自己評価) 共有のスペースが中央にあり、ハード面で良い環境にある。常時、利用者さんに近い見守りが出来やすい状況を把握している。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|---------------------------------------|------|---|---|----------------------------|--|
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | | | | | |
| 36 | 15 | ○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している | (自己評価) 介護計画は、全職員が気付いた事や意見を出し合って作成している。又、家族にも協力を得ている。 (外部評価) 毎日のケアで気づいたことを記入する「気づきシート」を作成している。記載内容が介護計画とリンクしており、全職員が介護計画を意識しながらケアを行っていることが分かる。家族からの意見なども取り入れて介護計画を作成していることは評価できる。 | | |
| 37 | 16 | ○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している | (自己評価) 3ヵ月毎に評価の見直しをし、状態変化にも応じた随時見直しを行っている。 (外部評価) 介護計画の期間に応じて評価、見直しをすると共に、見直し以前に心身に変化が生じた場合は、新たに現状に即した介護計画を作成している。 | | |
| 38 | | ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | (自己評価) 利用者一人一人の変化や状況を個人別のファイルに具体的に記録している。 | | |
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援 | | | | | |
| 39 | 17 | ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている | (自己評価) 同法人内の関連施設との連携を密に図り、柔軟な支援を行っている。 (外部評価) 法人内に、病院、福祉施設、居宅介護事業所等色々な機能があり、利用者へのケアサービスの向上に繋がるように上手く活用している。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------------------|------|--|---|----------------------------|---|
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 | | | | | |
| 40 | | ○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している | (自己評価) 音楽ボランティアの慰問あり。国分駐在所、消防東分署又、民生委員等協力しながら支援している。 | | |
| 41 | | ○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている | (自己評価) 担当ケアマネージャを通じ、本人の意向や必要性に応じて支援を行っている。 | | |
| 42 | | ○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している | (自己評価) 地域福祉権利擁護事業や成年後見制度のパンフレットを利用し支援センターの活用を呼びかけている。 | | ご家族の支援で支えることが出来ているが、必要に応じ支援センターと協働していく。 |
| 43 | 18 | ○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | (自己評価) 協力医療機関が整っている。訪問診療をされている利用者もいる。又、希望されるかかりつけ医療機関でも受診している。 (外部評価) 母体病院が地域に密着した活動を行っており、その信用からホームを利用している人が殆どのため、利用者の主治医は母体病院になっている。そのため、連携は堅固であり、安心できる。 | | |
| 44 | | ○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している | (自己評価) 協力病院の医師と協議し必要に応じて専門医との連携をとっている。個々の状態に合わせご家族に話し、アドバイスを含め専門医の案内の提案をとっていく。 | | |
| 45 | | ○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている | (自己評価) 協力医療機関・歯科医療機関等、受診している。 | | |
| 46 | | ○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している | (自己評価) 入院加療中も主治医とも連携し早期退院にむけて話し合い、又、退院後の療養計画・ホーム入居復帰について家族とも相談し協力している。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|--|------|---|---|----------------------------|---|
| 47 | 19 | ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している | (自己評価) 契約時、ご家族に説明し定期的に家族会で理解を得る。 (外部評価) 利用者の終の棲家となることに向けて、終末期ケアの取り組みを始めている。看取りの指針も作成されており、家族への説明も行っている。母体が病院のため、終末期ケアを行うペースが整っている。現在、終末期ケアを実践しており、職員や関係者との方針の話し合いが日々行われている。 | ※ | 実践している取り組みを記録化し、本格的な実践に際しての研鑽を期待したい。また、看取りでも様々な場合があるので、ホームでの対応が可能な場合と難しい場合の区分についても職員と一緒に話し合いを行うことを望みたい。 |
| 48 | | ○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている | (自己評価) 在宅療養支援診療所や訪問看護等との契約がなされている。協力医療機関との連携も図れかかりつけ医と共にチームとしての支援に取り組んでいる。 | | 現在、ターミナルケア希望にて入居されている利用者さんがおり、ご家族より「無理強いほしくないで好きなように過ごさせてほしい」と要望されている終末期ケアに取り組んでいる。 |
| 49 | | ○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている | (自己評価) 本人の希望により、外泊を試みながら居宅介護支援事業所に相談し、サービスの情報を提供し在宅復帰された方もいる。 | | |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 1. その人らしい暮らしの支援 (1)一人ひとりの尊重 | | | | | |
| 50 | 20 | ○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない | (自己評価) 人生の先輩である事を認識した言葉かけや対応に心掛け、人格の尊重をし各々プライバシーには「誠意」を持って対応している。又、療養記録等など保管する時は、逆に保管し氏名が見えないようにしている。 (外部評価) 利用者の誇りやプライバシーを損ねることなく、一人ひとりに暖かい声かけや関わりが行われている。情報管理も丁寧に行っており、人として尊重されている安心感がある | | |
| 51 | | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている | (自己評価) 料理作り、レクリエーション等声掛けをし、自己決定にてお願いし自己決定が困難な方には意欲の一端が見えた時その瞬間を大切に支援している。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|--------------------------------------|------|--|---|----------------------------|--|
| 52 | 21 | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | (自己評価) 食事で十分時間をかけ食べられる方・ゆっくり入浴されたい方等、利用者のペースに添うよう支援している。 ----- (外部評価) 生活のリズムを守るために一日の大きな流れは決まっているが、利用者のペースを優先させている。職員の会話や態度に、生活を楽んでもらうということが見受けられ、ゆっくりとできる雰囲気がある。 | | |
| (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 | | | | | |
| 53 | | ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている | (自己評価) 月2回理美容の便宜を図っている。又、馴染みの店へご家族と一緒に掛ける事でふれあいの時間が持てるよう支援している。 | | |
| 54 | 22 | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | (自己評価) 利用者さんと一緒に調理をし、職員も同じテーブルを囲み会話を楽しみながら食事をしている。 ----- (外部評価) 月に数回お楽しみ日を作り、利用者のリクエストに応える食事会を行っている。利用者が腕を振るうことも多く、食事をテーブルで楽しむような取り組みが行われている。 | | |
| 55 | | ○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している | (自己評価) お酒・たばこ等好まれる方は、現在おられない。10時と15時にコーヒー等の好みの物を個々に提供している。 | | |
| 56 | | ○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している | (自己評価) 個々の排泄パターンを把握し、トイレでの羞恥心や不安に配慮しながら支援している。 | | |
| 57 | 23 | ○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している | (自己評価) 利用者の希望に添って個別入浴され一人一人のペースに合わせており、満足されている。 ----- (外部評価) 入浴の時間や回数は利用者の希望に合わせた支援が行われている。また、入浴介護は、職員が利用者との信頼関係を深めるタイミングであるとの認識があり、丁寧に支援が行われている。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|--------------------------------------|------|--|--|----------------------------|--|
| 58 | | ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している | (自己評価) 利用者の日常の生活リズムを整える事で安眠の支援を行っている。又、居室にて自由に過ごして頂いている。 | | |
| (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 | | | | | |
| 59 | 24 | ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている | (自己評価) 毎日の散歩は日課となっており、食事作りお茶碗拭き等役立つ事に喜びをもち、生き生き毎日過ごされている。 (外部評価) 利用者のできること、難しいことのアセスメントがなされており、一人ひとりが役割を担うような支援が行われている。職員は利用者仕事をお願いする立場に立ち、終わるとお礼を言うという取り組みがされており、利用者の、役割を終えたときの得意そうな笑顔が、張り合いのある日々を送っていることを表している。 | | |
| 60 | | ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | (自己評価) 個人の管理能力を把握し、本人確認にて財布の管理をして頂き、管理の困難な方にも職員と一緒に小遣い帳に記入している。 | | 小遣い帳に毎月、家族の確認印（サイン）を頂いている。 |
| 61 | 25 | ○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している | (自己評価) 天気の良い日は、花摘み、月1回の外食等希望に添うよう支援している。 (外部評価) 買い物や行事での外出以外にも、散歩や庭に出る機会を多くすることで、利用者が四季を肌で感じたり、天気を意識できるように支援している。 | | |
| 62 | | ○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している | (自己評価) 兄弟への面会・お墓参り等、ご家族の協力もあり出掛けられている方もいる。 | | |
| 63 | | ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている | (自己評価) 本人希望時、電話できるよう支援している。又、手紙についても定期的に声掛け等を行って利用者への支援をしている。 | | |


| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|----------------|------|---|---|----------------------------|---|
| 64 | | ○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している | (自己評価) 面会時、家族会等いつでも気軽に訪問できるような雰囲気作りをしている。 | | |
| (4)安心と安全を支える支援 | | | | | |
| 65 | | ○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる | (自己評価) 全職員が、把握しており拘束をしないケアに取り組んでいる。 | | |
| 66 | 26 | ○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる | (自己評価) 使用に関しては安全確保を優先し、開放時間を随時検討し実行している。 (外部評価) 玄関等の鍵は防犯のため以外には、掛けられていない。不穏な状態の利用者には、共に外出することを基本としている。 | | 家族会等でも十分に話し合いをして安全管理と生活での確保の中で十分工夫している。 |
| 67 | | ○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している | (自己評価) 45分毎にさりげなく見回り、プライバシーに配慮しながら所在を確認している。 | | |
| 68 | | ○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている | (自己評価) 職員見守りの中、包丁やはさみ等使用しその後所定の場所へ保管されている。 | | 薬は鍵のかかる場所へ保管の徹底がなされている。 |
| 69 | | ○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる | (自己評価) 随時の勉強会と対応マニュアルがある。緊急時対応マニュアルを作成し、内部研修にて勉強会も行っている。 | | |
| 70 | | ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている | (自己評価) 緊急時の手当ては、マニュアルに添って行う。又、定期的に意識付けをしている。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|----------------------------------|------|--|---|----------------------------|---|
| 71 | 27 | ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている | (自己評価) 毎月10日を「防災の日」としシュミレーションも行っている。又、年2回の防災訓練を行いマニュアルも作成している。 (外部評価) 消防署や自治会と協力しながら避難訓練を実施し、マニュアルも作成されている。また、毎月10日を「防災の日」と位置づけ、災害対策の意識をホーム全体で高めている。 | | 併設の介護老人保健施設と連携をとり昼夜とも応援・連絡体制をとっている。 |
| 72 | | ○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている | (自己評価) 入居時に十分に注意をはらっているが、転倒等のリスクをご家族にも説明し、理解を得ている。事故報告書・ヒヤリハットを活用しサービスの改善に努めている。 | | |
| (5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 | | | | | |
| 73 | | ○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異常の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている | (自己評価) 日々のバイタルチェックを実施し、観察・治療の必要性・経過観察の見極め・活気普段との変化に注意をはらっている。 | | |
| 74 | | ○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | (自己評価) 服薬については最終のチェックの担当を決めており、薬剤師からの処方ファイルを全員把握し、薬の目的・用法・副作用等を理解している。 | | |
| 75 | | ○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる | (自己評価) 野菜・食物繊維の多い食事を配慮し、適度の運動を習慣づけている。(散歩等) | | 朝一番の水分補給・牛乳飲用 |
| 76 | | ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている | (自己評価) 毎食後、見守り、声掛けにて口腔ケアを実施し、歯科衛生士による口腔ケア指導も行われている。 | | |
| 77 | 28 | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | (自己評価) 個人バイタルチェック表にて把握している。毎月1回の体重測定により、体重の変化に気を付けている(BMI) (外部評価) 利用者の好みに合わせながら栄養バランスを考え献立がたてられており、個別の摂取状況も記録されている。栄養摂取総量は、法人の栄養士との相談もあり、適切に管理されている。 | | 本人・ご家族の希望により栄養管理士にも相談の上、主食を少なめにされている利用者もいる。 |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|--------------------------------|------|---|---|----------------------------|--|
| 78 | | ○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取組みがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等） | (自己評価) 玄関等に消毒液の設置をしておき、協力医療機関からのアドバイスも随時行われている。入居者に変化があれば受診し、連携もとれている。 | | 感染症マニュアルでの勉強会を行い予防又対応している。 |
| 79 | | ○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている | (自己評価) 食器乾燥機使用、布巾は毎晩ハイターにて消毒がなされている。毎日老健厨房より食材を一日分調達し使い切り安全管理に努めている。 | | |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり | | | | | |
| (1)居心地のよい環境づくり | | | | | |
| 80 | | ○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている | (自己評価) 玄関前にはベンチを設置し、いつでも休憩できるようにしており、季節の花を玄関まわりに植え楽しんでいる。 | | |
| 81 | 29 | ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | (自己評価) 夜間は、利用者さんがナースコールを遠慮される為、鈴にて対応している。散歩時、季節の花を摘んで花器に生け観賞されている。 (外部評価) ゆったりとした共用空間に、さり気なく季節の飾り物が配置されている。ユニットの造りは同じであるが、家具のレイアウトなどでそれぞれの異なった生活感を醸し出している。採光や通風にも工夫が見られる設えで、心地よい空間である。 | | |
| 82 | | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている | (自己評価) 玄関入口に椅子を配置しており、又、リビング以外にも畳スペースがあり、利用者同士日光浴をしながら会話をしたり自由に過ごされている。 | | |
| 83 | 30 | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | (自己評価) 入居時に、愛用されている物や使い慣れた物を持ってきて頂いている。 (外部評価) 使い慣れたタンスや布団、家族の写真を飾るなど居心地よく過ごせる居室への配慮が見受けられた。居室の目印も利用者の好みに応じて様々な物が飾られている。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------|------|--|--|----------------------------|--|
| 84 | | ○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている | (自己評価) 居室・・・7時 11:45分 居間・・・8:30分 12時30分と換気の時間、温度設定には気を付けている。衣服の調節・個人差にも配慮している。 | | |
| (2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり | | | | | |
| 85 | | ○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している | (自己評価) バリアフリーで安全に動かせるようにしてある室内での物干しは足元が不安定な入居者さんには重宝されている。 | | |
| 86 | | ○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している | (自己評価) 個々の役割りを見出し、出来る事は行って頂き、出来ない事は、寄り添い支援する。 | | |
| 87 | | ○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている | (自己評価) 玄関前には、ベンチを設置し散歩時休憩の場としてたり季節の花を玄関まわりに植え、水やり等楽しんでいる。 | | |

(注)

- 1  部分は自己評価と外部評価の共通評価項目。
- 2 全ての自己評価又は外部評価の項目に関し、具体的に記入すること。

| V. サービスの成果に関する項目 | | |
|------------------|---|---|
| 項目 | 取り組みの成果 (該当する箇所を○印で囲むこと) | 判断した具体的根拠 |
| 88 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) 1 ほぼ全ての利用者の 2 利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない | 利用者さんの思いに耳を傾け、過ごし方を朝礼等で伝達し、情報を共有して対応している。 |
| 89 | 利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) 1 毎日ある 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない | リビング以外にも畳スペースがあり、利用者と一緒に会話を楽しみながら、洗濯物をたたまれたりしている。又、2Fにゆったりとした空間談話室があり、日曜日に1F2F合同にて喫茶「さざんか」で歓談会を開いている。 |
| 90 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない | (自己評価) 食事で十分時間をかけ食べられる方・ゆっくり入浴されたい方等、利用者のペースに添うよう支援している。 |
| 91 | 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない | 「役に立ちたい」と本人の自主的な発言により、お茶入れ・食事作り等持てる力を發揮して、生き生きと暮らしている。 |
| 92 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない | 毎日の散歩は日課となっており、隣接の花壇への花摘みを楽しまれている。ご家族の協力もあり、兄弟への訪問お墓参り等出掛けている。 |
| 93 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (自己評価) 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない | 心身の異常時はかかりつけの医師・看護師・訪問診療等、協力機関との連携は密にとれている。尚、緊急時は併設の医師・看護師との協力体制が得られている。 |
| 94 | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (自己評価) 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない | 外出希望時、寄り添い会話を楽しみながら、気分転換を図るよう支援している。 |
| 95 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (自己評価) 1 ほぼ全ての家族と 2 家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない | 家族会・面会時等十分時間をかけ傾聴している。 |
| 96 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) 1 ほぼ毎日のように 2 数日に1回程度 3 たまに 4 ほとんどない | 馴染みの方の来訪により笑い声が聞こえている。 |

| 項 目 | | 取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと) | 判断した具体的根拠 |
|-----|---|--|--|
| 97 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている | 1 大いに増えている (自己 ②少しずつ増えている 評価) 3 あまり増えていない 4 全くいない | 情報・意見交換することにより、少しずつではあるが、理解者が増えている。 |
| 98 | 職員は、生き活きと働けている | ①ほぼ全ての職員が (自己 2 職員の2/3くらいが 評価) 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない | 利用者さんと会話を積極的に楽しみながら仕事に取り組んでいる。 |
| 99 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う | 1 ほぼ全ての利用者が (自己 ②利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない | 利用者さん一人一人笑顔も多く見られ、外出や外食等楽しまれている。 |
| 100 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う | 1 ほぼ全ての家族等が (自己 ②家族等の2/3くらいが 評価) 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない | 面会時、気付いたこと等を発言して頂けるような雰囲気作りをしている。家族会を月1回開催し、家族とのコミュニケーションが日頃よりとれる関係を構築し意見等聞いている。 |

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

- ・利用者さん一人一人出来る事・出来ない事を職員が見極め、その方の持ち味を發揮できる場面作りをしている。
- ・寄り添うケアを心掛け、笑顔も多く引き出し、生き生きとした生活が送れるよう支援している。
- ・研修案内を積極的に行きケアサービスの質の向上に取り組んでいる。
- ・陽成会の広瀬クリニック、又隣接する訪問看護ステーションの看護師等との連携も密に図れていて安心できる。